

団体名：一般社団法人 苫小牧観光協会

回答日：平成30年12月28日

要望書（回答）

1 「僕だけがいない街」を活用した誘客事業の取組（新）

苫小牧市出身の三部氏が描く漫画「僕だけがいない街」は、アニメ、映画、ドラマが製作されている人気作品で、劇中には、白鳥王子アイスアリーナや科学センター等市内のスポットが随所に登場しています。

前年度のロケ地マップ製作に続き、今年度はスタンプラリーを開催し誘客に努めておりますが、道内外から多くのファンがロケ地巡りに本市を訪れ、製作した関連グッズの販売を含め、過去にない話題性と経済効果をもたらしていると実感しております。

つきましては、本素材を活用した誘客事業について、本協会と共に継続して取り組んで頂きますよう要望いたします。

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

本市では、平成24年4月にとまこまいフィルムコミッション支援協議会を設立し、映画やテレビドラマ等のロケーション撮影の支援やPRにつとめてきたところでございます。

「僕だけがいない街」については、平成12年6月より漫画連載を開始し、平成28年1月よりテレビアニメ化、平成28年3月より実写映画化、平成29年12月よりNETFLIXにて実写ドラマ化されるなど、大変人気の高いコンテンツであるため、観光誘客につながる新たな魅力の一つとして認識しております。

こうしたことから市としては、今後も貴協会と連携して「僕だけがいない街」を活用した事業を展開し、更なる観光誘客を図ってまいりたいと考えております。

2 苫小牧版統合型リゾートの誘致（継続）

本年7月にIR整備法が制定され、本市においても苫小牧統合型リゾート推進協議会等により、本市の優位性を活かした基本構想の策定と誘致に向けた取り組みを積極的に行って頂いているところです。

本市における通年滞在型観光の確立や雇用の拡大、民間による投資の誘引が長期にわたり見込まれることから、統合型リゾートの誘致活動について引き続きご尽力を賜りますようお願いいたします。

【回答】（総合政策部国際リゾート戦略室 担当）

本市におきましては、IR誘致のチャレンジは、人口減少時代を迎え、経済規模が小さくなる中、将来に向けた新たな施策のひとつであり、観光振興をはじめ、雇用の創出や地域経済の活性化に大きく寄与するものと考えております。本市では、本年6月IRを含む「苫小牧国際リゾート構想」を策定し、市内におきまして説明会を開催したところでございます。

一方、北海道では、先般、IRを誘致する場合、苫小牧市を優先候補地とすることが妥当との見解が示されたところでございます。

本市といたしましては、本国際リゾート構想の実現に向け、引き続き、市民理解の促進のほか、北海道や関係機関等との連携を図り、I R誘致にチャレンジしてまいりたいと考えております。

3 苫小牧市観光振興ビジョンに基づいた事業の推進（継続）

一昨年策定された観光振興ビジョンのもと、本協会も誘客促進に向けた諸事業を苫小牧市と共に実施しているところですが、継続と連動が重要であると認識しております。

また、2020年には民族共生象徴空間の完成や東京五輪の開催に加え、苫小牧中央I Cの新設、緑跨線橋の架替えが予定されており、本市への流入動態に大きく影響することが予想されます。

つきましては、観光インフラの整備や誘客事業の更なる取り組みについて、本協会及び関係機関と協働のもと推進して頂きますよう要望いたします。

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

「苫小牧市観光振興ビジョン」は、本市の特性や魅力を再認識し、長期的な視点で観光振興に取り組み、交流人口の増加による地域経済の活性化を目的として平成28年2月に策定されております。

本市といたしましては、ビジョンの実現に向けて取りまとめた実施事業計画に基づき、貴協会と連携して産業観光推進や道外観光客誘客プロモーション活動の強化、外国人観光客受入セミナーの開催など、事業の推進を図ってきたところであり、引き続き、貴協会をはじめ関係機関等との協働により、今後の観光を巡る情勢の変化を見据えた幅広い施策を展開してまいりたいと考えております。

4 ふるさと納税返礼品受託事業の継続と強化（継続）

平成26年度より、ふるさと納税をしてくれた方に対し、お礼の品を送付しているところですが、本協会は返礼品の選定と送付業務等について当初より携わっております。

本市特産品と本協会会員事業者のPRに有効であると共に、本協会の財務基盤安定化にも繋がることから、本事業のPR強化並びに受託業務の継続について要望いたします。

【回答】（総合政策部政策推進課 担当）

本市のふるさと納税におきまして、平成27年9月から平成29年3月までは苫小牧観光協会への返礼品配送業務を委託しておりました。

その後、制度の認知度向上やクレジット決済導入等の様々な要因により寄附件数が著しく増加し、当時の処理方法では対応が困難な状況となり、平成30年4月よりふるさと納税業務を一括して対応可能な業者へ委託しております。

なお、苫小牧観光協会におかれましては、これまでのノウハウをいかし、返礼品の選定及び開発業務を引き続き担っていただいているところです。

次年度につきましても、現在、委託しております返礼品選定及び開発業務を引き続き苫小牧観光協会へ依頼するとともに、本事業のPR強化といたしまして広告掲載やサイトの増設等を検討してまいります。

5 観光事業の推進体制の強化（継続）

本協会は平成3年7月に社団法人として認可を受け、その役割を担い、各種事業を展開して参りましたが運営状況は依然脆弱です。本市観光振興の一助を担うべく、事業の拡充と発展に向けて鋭意努力しておりますので、より一層のご理解とご支援をお願いいたします。

(1) (一社)苫小牧観光協会の運営に対し、人的・財政的支援の継続

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

本市といたしましては、観光振興を推進する上で、貴協会との緊密な連携は不可欠と認識しておりますことから、今後も、貴協会の運営に対しましては、職員の派遣や財政的な支援を継続してまいりたいと考えております。

(2) 行政施策における観光事業の計画と協会事業の連携

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

「苫小牧市観光振興ビジョン」の推進に当たりましては、貴協会や関係機関等の御協力をいただきながら、社会経済情勢に即したニーズを的確に捉え、本市の観光振興につなげてまいりたいと考えております。

(3) 観光事業に関する各種補助事業及び助成事業等の情報提供と、それら事業申請・実施にむけた協力と支援

【回答】（産業経済部観光振興課 担当）

本市といたしましては、貴協会の充実した事業展開に向けて、国の助成制度等に関する情報の共有を図るとともに、事業の実施に当たりましては、積極的に協力・支援を行ってまいります。